

データ保存方法 色々

2017 年 4 月 8 日

By ミケパパ

皆さんがパソコンで作ったチラシ、名簿、旅行計画・・・などの作品(データ)は、完成後、必ず「保存」しますよね。どこに？今日は、この「データの保存方法」について述べてみます。

☆内蔵 HDD

一番多いのは、パソコン内蔵のハードディスクドライブ(HDD)ではないでしょうか。この HDD は、アルミニウムやガラス製の円盤(ディスク)に磁性体を塗布したもので、この磁性体の磁化の方向で情報を保存します。情報の書き込みや読み出しは、磁気ヘッドと呼ばれる部分を高速で移動して行います。



ハードディスクドライブ外観



ハードディスクドライブ内部

*これがパソコンに内蔵されています。 * ディスクと、磁気ヘッドが見えます。

どんどんと大容量化、軽量化が進み、現在はパソコン内蔵のもので 1TB(テラバイト、1000 ギガバイト)のものが普通です。

この容量が大きいほど、たくさんのデータの保存が可能なのはもちろんですが、パソコンの稼働速度も(やや)速くなります。

☆内蔵 SSD

近年、パソコン内蔵 HDD に替わるものとして急速に広まってきたのはソリッドステートドライブ(SSD)です。半導体素子を使った記憶装置ですので、HDD のような可動部分を持ちません。それ故、「データを保存する場所を探す時間」(シークタイムといいます)が不要ですので、動作はたいへん早くなりますし、薄く軽くできますし、衝撃にも強いのです。

ただし欠点は、HDD に比べてまだ大変高価ということです。

それ故、パソコンに組み込まれているのは現在(2017 年 4 月)では 512GB 程度まででしょう。高価ですが、とにかく動作が



速いので、一度使いますと HDD 付きのパソコンが皆「かったるく」感じられます。

☆外付(固定型)HDD

作品、データは「パソコン内蔵 HDD だけに保存」で十分でしょうか？ いえいえ、「もしも」の時に備えて、皆さんの「データ」は、必ずどこかに「バックアップ」をとっておくことをお勧めします。

HDD は、構造を見ればわかりますように、動く部分があります。動くということは、「消耗する」「衝撃に弱い」といった弱点をも持つことです。それだけでなく、パソコン本体が機械的に壊れたり、ウイルスにやられたりしたときに、内蔵 HDD にしかデータがないと、取り出すのは大変面倒です。それ故、データは必ず「バックアップを取っておく」ことをお勧めします。(私自身の経験からも)

このバックアップ用の補助記憶装置(ストレージなどとも言います)として安価・かつ大容量なのは、外付 HDD です。最近では安価になり、3TB のものでもアマゾンなどネット通販価格で1万円以下です。

使い方はごく簡単で、付属の USB ケーブルでパソコンにつなぐだけです。外付 HDD へのバックアップは、できるだけ頻繁に実施しましょう。ウィンドウズパソコンでは、「定期的に自動でバックアップする」という設定も可能ですが、HDD によってはこの「自動バックアップ」ができないものもあるようです。私は作ったファイルの保存の時に、内蔵 HDD と外付 HDD の 2 か所に必ず保存するようにずいぶん前から習慣づけています。



☆ポータブル HDD

外付 HDD でも、特に堅牢に作って、持ち運びができるようにしたものが「ポータブル HDD」です。「USB メモリーの大きなもの」と考えていいでしょう。固定型に比べてやや高価で、1TB で7千円～8千円です。



★オンライン・ストレージの利用

データの保存先を、自分のパソコンではなく、インターネット経由で、プロバイダーやサービス提供会社のサーバーに預けてしまう方法もあります。「オンライン・ストレージ」といいます。登録しますと、ログイン用のパスワードを共有することで複数のパソコン(利用者)による利用が可能です。

これの利点は、

- * 自分のパソコンの容量を気にしないでデータを保存できる
- * 友人・家族と「共有」が可能なので、写真や動画など、メール添付では送れないような大きなデータファイルでも簡単に多数でダウンロードができる

通常は、ある程度の容量までは無料、それ以上の利用は有料になります。

有名なものとしては

- ・グーグルドライブ …… グーグルが運営、15GB まで無料。
- ・ワンドライブ …… マイクロソフトが運営。5GB まで無料。
- ・ドロップボックス …… 老舗。2GB まで無料。

このほか、50GB まで無料のものもある由ですが、私は使ったことがありません。お勧めはグーグルドライブです。同時に、G メールも登録して使用されればよろしいと思います。これにつ起案しては、そのうちに別途この講座で紹介しようと考えています。

ワンドライブは、ウィンドウズ—10プレインストールパソコンには標準ソフトとして組み込まれています。初期設定の時に注意していないと「内蔵 HDD との同期」の設定をしてしまいます。これをやりますと、内蔵 HDD にデータを保存する度にワンドライブにもデータが保存されるようになり、一見便利そうですが、何故か HDD のメモリーを2倍消費します。また、「同期」していますので、ワンドライブの中のファイルを削除しますと、内蔵 HDD のファイルも消えてしまいます。

私も今のパソコンを購入時に、知らずに「同期」してしまったらしく、苦労しました。初期設定の時の注意につきましては、この講座の「[第 31 回 パソコン初期設定時の注意](#)」をご参照ください。



図：オンラインにデータを保存しておけば、外出先や他の端末からもアクセスできる

以上